

平成 21 年 6 月 16 日
経 済 産 業 省

消費生活用製品の重大製品事故に係る公表について

消費生活用製品安全法第 35 条第 1 項の規定に基づき報告のあった重大製品事故について、以下のとおり公表します。

1. ガス機器・石油機器に関する事故 4 件
(うち半密閉式 (CF 式) ガスふろがま (都市ガス用) 1 件、
石油ふろがま (薪兼用) 1 件、屋外式ガス給湯器付ふろがま (都市ガス用) 1 件、
開放式ガス湯沸器 (都市ガス用) 1 件)
2. ガス機器・石油機器以外の製品に関する事故であって、
製品起因が疑われる事故 3 件
(うち電気衣類乾燥機 1 件、ノートパソコン 1 件、介護ベッド用手すり 1 件)
3. ガス機器・石油機器以外の製品に関する事故であって、
製品起因か否かが特定できていない事故 4 件
(うち電気ストーブ (ハロゲンヒーター) 1 件、介護ベッド用手すり 1 件、
携帯電話 1 件、ドア 1 件)
4. 製品起因による事故ではないと考えられ、今後、第三者判定委員会において、
審議を予定している案件 1 件
(うち石油バーナー 1 件)

※詳細は別紙のとおりです。

5. 留意事項

本公表内容については、速報段階のものであり、今後の追加情報、事故調査の進展等により、変更又は削除される可能性があります。

6. 特記事項

(1) パラマウントベッド株式会社製介護ベッド用手すり (管理番号A200900202)

① 消費者への注意喚起

パラマウントベッド株式会社製の介護ベッド用手すり(サイドレール)において、2本の手すりの間に、仰向けで患者の首がある状態で発見され、翌日死亡が確認されました。事故に至った経緯や原因については、死亡の因果関係も含め、原因、現在調査中であります。2本の手すりの角部に上から下に向けて狭くなる丸みがあり、何らかの理由でその部分に首が入った状態になってしまったと考えられます。

介護ベッド用手すりにおいては、過去から製品の隙間に首など身体の一部を挟み込む等の重大な事故が発生しております。

同様な製品をご使用されている方々及びご使用者を介護する方々には、取扱説明書、製品の注意表示、製造事業者及び業界団体のホームページに記載されている注意事項を今一度、ご確認いただき、製品に関するリスクを認識し、正しくご使用ください。

特に、2本の手すりの間への首や頭部の挟み込みを防止する安全対策として、2本の手すり上部を連結する簡易部品(樹脂製)が、事業者により無料で供給されております。同様な介護ベッド用手すりをご使用されている場合は、事業者にご連絡いただき、同簡易部品を取り寄せ、必ず使用して下さい。

なお、本年3月に介護ベッドの日本工業規格(JIS)が改正され、頭・首の挟み込み事故を防ぐためのすき間の基準強化が図られています。安全のため、可能な限り、改正されたJISに対応した製品をご使用下さい。

また、製品の使用の際に、不具合や不安等がある場合には、製造事業者又は販売事業者等にご相談ください。

日本福祉用具・生活支援用具協会及び医療・介護ベッド安全普及協議会において、介護ベッドのサイドレール・手すり等による事故等についての注意喚起の呼びかけを行っております。

(日本福祉用具・生活支援用具協会のホームページ)

URL : <http://www.jaspa.gr.jp/>

(医療・介護ベッド安全普及協議会のホームページ)

URL : http://www.v-net.co.jp/bed-anzen/n_bed-anzen_index.html

(本発表資料のお問い合わせ先)

商務流通グループ製品安全課製品事故対策室

担当：横田、服部、中村

電話：03-3501-1707(直通)

介護ベッド用手すり(管理番号:A200900202)



平成21年8月28日
経 済 産 業 省

消費生活用製品の重大製品事故に係る公表について

消費生活用製品安全法第35条第1項の規定に基づき報告のあった重大製品事故について、以下のとおり公表します。

1. ガス機器・石油機器に関する事故 5件
(うち石油給湯機付ふろがま1件、屋外式ガス給湯器(都市ガス用)2件、
屋外式ガス給湯付ふろがま(LPガス用)1件、
半密閉式(BF式)ガスふろがま(LPガス用)1件)
2. ガス機器・石油機器以外の製品に関する事故であって、
製品起因が疑われる事故 11件
(うちエアコン(室外機)2件、エアコン1件、除湿機1件、食器洗い乾燥器2件、
ガラス花瓶1件、手すり(支柱式)1件、ポータブルDVDプレーヤー1件、
扇風機1件、テレビ(ビデオ一体型・ブラウン管型)1件)
3. ガス機器・石油機器以外の製品に関する事故であって、
製品起因か否かが特定できていない事故 7件
(うち自転車用空気入れ1件、電動アシスト自転車1件、
電動車いす(ハンドル形)1件、エアコン(室外機)2件、
ベッド用落下防止柵1件、温水洗浄便座1件)
4. 製品起因による事故ではないと考えられ、今後、第三者判定委員会において、
審議を予定している案件 0件
該当案件無し

※詳細は別紙のとおりです。

5. 留意事項

本公表内容については、速報段階のものであり、今後の追加情報、事故調査の進展等により、変更又は削除される可能性があります。

6. 特記事項

(1) 株式会社ノーリツが製造した屋外式ガス給湯付ふろがま（LPガス用） （管理番号A200900422）

① 事故事象及び再発防止策について

株式会社ノーリツが製造した屋外式ガス給湯付ふろがまで、供給ガス圧を調整する部品（ガスガバナ）の設計不良から、長年の使用でガス圧調整のためのゴム膜（ダイヤフラム）が劣化し、亀裂、シール面の脱落が生じ、漏れたガスに引火し、器具内配線を焼損する事故が発生しました。

当該製品は、同社が平成19年6月に新聞社告、平成20年3月17日に再社告を掲載し、注意喚起を行うとともに、対象製品について改修を実施しております。

なお、これまでの事象は、器具内の配線を焼損し、安全装置が働きガスが遮断され、自己消火しているものです。

改修対象台数 440,738台

改修率 25.0%（平成21年8月27日現在）

② 対象製品

機種名	販売期間	販売台数
GRQ-161シリーズ	89年8月～94年2月	137,626
GRQ-201シリーズ	89年8月～94年3月	129,342
GRQ-162シリーズ	89年12月～94年5月	135,170
GRQ-163シリーズ	93年8月～94年5月	9,259
GRQ-203シリーズ	93年8月～94年5月	26,210
GRQ-204シリーズ	93年8月～94年5月	3,131
合 計		440,738

注）上記販売台数には、日立ハウステック分（9,775台）、東京ガス分（17,515台）、大阪ガス分（4,493台）、東邦ガス分（2,284台）、西部ガス分（4,223台）、北海道ガス分（155台）が含まれます。

③ 消費者への注意喚起

当該製品（同様の機構を有する製品を含む）を使用している方で、まだ製造事業者等の行う改修を受けておられない方は、下記問い合わせ先にご連絡ください。なお、(株)ノーリツブランドのほか、日立化成工業(株)（現、(株)ハウステック）ブランド、東京ガス(株)ブランド、大阪ガス(株)ブランド、東邦ガス(株)ブランド、西部ガス(株)ブランド及び北海道ガス(株)ブランドの製品もあります。

（株式会社ノーリツ、東邦ガス株式会社、西部ガス株式会社、
北海道ガス株式会社の問い合わせ先）

0120-257-026

受付時間：9時～19時（平日）

9時～17時（土・日・祝日）

（株）ノーリツホームページ：<http://www.noritz.co.jp/>

(株式会社ハウステックの問い合わせ先)

0120-80-1761

受付時間：9時～17時30分（平日）

（ただし、12時10分から13時の間は除く）

ホームページ：<http://www.housetec.co.jp/>

(東京ガス株式会社の問い合わせ先)

0120-156-004

受付時間：9時～19時（平日）

9時～17時（日・祝日）

ホームページ：<http://www.tokyo-gas.co.jp/>

(大阪ガス株式会社の問い合わせ先)

0120-0-94817

受付時間：9時～19時（平日）

9時～17時（日・祝日）

ホームページ：<http://www.osakagas.co.jp/index.html>

(本発表資料のお問い合わせ先)

商務流通グループ製品安全課製品事故対策室

担当：横田、服部、榎本

電話：03-3501-1707(直通)

手すり(支柱式)(管理番号:A200701157)

